

Tempus

福澤諭吉記念慶應義塾史展示館だより

Tempus Fugit — 時は過ぎゆく

FUKUZAWA YUKICHI MEMORIAL
KEIO HISTORY MUSEUM

No. 05
Oct. 2023



日吉第一校舎正面玄関外観と内部の竣工時と現在。
校名の表記、窓枠や照明器具など、変化は微細である
(撮影=石戸晋)。

光陰如矢 かつてと今と

「理想的学園」の90年
——受け継がれた白亜の校舎

日吉キャンパスが開設されたのは昭和9年(1934)。まもなく90年を迎えます。最初に完成した第一校舎は現在慶應義塾高校の校舎として、竣工時からほとんど変わらぬ姿、そしてほとんど変わらぬ用途で受け継がれています。この建物は、曾禰中條建築事務所の若き建築家網戸武夫が担当しました。コンクリートというモダンな素材で古典主義の様式美を表現しようという、網戸の熱き情念が、今も青年たちの感性を刺激し続けています。

油絵「半旗」に寄せて

1967年経済学部卒 大森 邦彦

❖ 「半旗」のこと

現在壮麗な建物が建って居る三田校舎東側の入口には曾て坂の上に幻の門があった。4年生の初夏、下校時に幻の門を出て塾監局を見上げた。長年塾長をされた小泉信三氏を悼む半旗が夕日を背に掲げられて居る。氏は塾員のみならず国民的な敬愛を集めて居られた。自分にとって心の支えに成って居ただけに強い喪失感に襲われた。この感情を絵に留めて置こうと筆を執り、坂途中の郵便局のポストに立て掛けて3箇月間で描上げた。三田祭に出品した処、高村象平元塾長もじっと佇んで御覧頂いた様で、氏への思いが伝わる。

❖ 学生時代

ソ連崩壊より遙か昔、冷戦の只中だった。2年生の時に学費闘争が起きた。紛争中の教室で2人の助教授が教壇に駆上がって、マルクス経済学の計画経済と近代経済学の資本主義経済のどちらの効率が良いか白熱の議論をする場面もあった。当時の経済学徒にとって、こんなに恵まれた教材は無い。固唾を飲んで議論を頭に刻み込んだ。

4年生の時、三田の山にサルトルとボーヴォワールが訪れた。キエルケゴールの実存主義が歩いて来た様な衝撃を受けた。

❖ 高村ゼミ

学費闘争で塾長を辞められた高村教授がゼミナールを再開するとの発表があった。ハンザ同盟研究の世界的な碩学である。すぐに入ゼミを申し込んだ。

高村教授から第36期生のゼミ委員を仰せ付かった。第1期生のゼミ委員は和光の服部謙太郎氏。

卒業後は高村ゼミ OB 会の終身幹事を仰せ付かった。高村教授から1冊の本を頂戴した。“Reflections at Walden” — Walden の池の辺に28ドルで小屋を作って住んだ Henry David Thoreau の故智にならって高村教授も自然の中の静寂境を想って居られたか。読み返す度に教授の優しい微笑みを思い出す。

❖ パレット倶楽部

福澤諭吉先生から金20円を賜わって創設した学生団体



「半旗」画布・油彩100号(162cm×130cm)
1966年制作

「パレット倶楽部」は2024年創立125周年に成る。素人の絵画サークルとしては最古参の部類に属する。日吉のグラウンドの反対側にアトリエが有る。私の在学中、六大学でアトリエを持つのは慶應だけだった。

パレット倶楽部では現役生とOB合同の展覧会が長年続けられて居るせいか、現役生とOBは親密である。宅急便が無い時代には高齢者のOBの作品を現役生が手分けして搬入/搬出することで、この絆はより深まったと思う。

パレット倶楽部からは美術商が輩出して居る。私は倶楽部で同期の画商の奨めで20年前に購入したバスキアを、倶楽部で一回り後輩の美術商に頼んでNYでオークションに掛けて貰った。その代価で求めた洗足・小山の邸は都営三田線で三田から、東急目黒線で日吉から直行出来るので、パレット倶楽部現役生と食事会等を催して、パレット倶楽部に恩返ししている。

❖ 現役生との交流

油絵の画材は初めて使う時や絵を描いた後の洗浄が欠かせない。怠ると筆は固まりパレットは絵具で凸凹に成ってしまう。

コロナの災禍でオンライン授業が続き倶楽部活動も不活発に成って技術の伝承が行なわれなかった様である。2022年秋に現役生の依頼を受けてアトリエで画材手入の勉強会を開催した。結果、ほぼ全員の画材が固まって使用に堪えない事が判明した。皆で画材屋に行き、新しい画材を買って差上げた。油絵を始めようと言う2023年の新入部員全員に28セットの油絵画材を贈呈した折には「僕等上級生が1年生に画材の使い方を指導します」との申出があり私の出番は無かった。現在制作活動は活発でコロナ前に戻って居る。

三田と、自転車と、つるの屋と

シクロサロン店主 植原 郭^{かん}

❖ 生まれ育った三田の変化

私は昭和15年9月18日に三田の松山病院で生まれ、ずっと三田に住んできました。今「シクロサロン」を開いている家は昭和2年築です。もとは明治40年に祖父が「植原鉄工所」を建てた場所で、芝区本芝入横町(今の東京女子中学・高校の隣ぐらいの所です)の方に工場があった池貝鉄工所の下請けをやっていて、最大で7人くらい職人がいました。この一帯は、戦前は町工場が多く、空襲でも焼け残りました。玄関を入ったところの床下に、今は埋めてしまいましたが防空壕がありました。旋盤などの機械一式が残っていたので、日本工業大学から欲しいと連絡があって、稼働可能な状態で博物館に展示されています。学生が授業で動かすそうです。

小学校は南海小学校。この前まで三田図書館があったところに、大正時代の木造2階建て校舎があって、体育館はまだ食糧配給所になっていました。私の家の周りは乾物屋とか魚屋とか八百屋はありましたが、呑み屋はなくて慶應生と行き交うことはほとんどなかったです。今のように飲食店街に変わっていったのは、パブの頃がきっかけでしょうね。道路拡張や相続、あとはお店の跡継ぎがいなかったりで、古くからの住人はどんどんいなくなっていました。

❖ 自転車との出会い

中学生だった兄が三田通りの高橋商店で通学用自転車を買ったのをきっかけに、MCC(港サイクリングクラブ。高橋商店店主の高橋長敏が昭和24年に創設した日本で有数の歴史を誇るサイクリングクラブ)から自転車遠乗り会の案内が届くようになりました。その頃白いご飯はめったに食えない時代でしたが、兄がおにぎりを持っていくのがすごく羨ましくて、私も中学に上がると当然のようについていくようになりました。高橋商店前に集合して鎌倉とかに走って行ったんです。それ以来70年になります。昭和40年にはMCCの事務局を引き継ぎました。

❖ 慶應義塾での勤務

高校は三田高校の定時制で、大学行きたいけどお金ないな、と思っているところへ慶應からの求人が高校にきました。毎日昼間は慶應で働き、夜は学校に行きました。その頃定時制は4年制で、3、4年の昭和33年夏から35年4月まで働きました。慶應は月給6000円で、六大学で一番安かったようです。南校舎ができたのでその中の学生部で健保の窓口をやりました。学生は「お坊



慶應の学生部学生健康保険組合の窓口にて。
(昭和34年11月)

ちゃま]が多い印象で、自治会の人たちとぶつかり合うことも多かったですが、規則ですからと拒否すると、無理は言ってこなかったです。

早慶戦だけは行きたいと言うと行かせてくれました。だから応援歌も歌えます。自治会の人々が神宮を仕切っていたのでタダで入れたんですよ。

❖ つるの屋の思い出

学生部長の平井新先生に是非慶應にと言われましたが、金銭面で難しく、兄も行った法政大学を卒業して、自転車関係の仕事色々を経て、昭和44年に「シクロサロン」を開業しました。三田通りのつるの屋創業と同じ頃です。最初は近くの養老乃瀧に行っていたんですけど、つるの屋に切り替えてすぐに入りびたようになりました。その頃のつるの屋は静かだったんです。それが段々変わってきて(笑)。お客さんとはお互い名乗ったりしないけど、あるとき、私を描いてくれた絵を突然もらったのがこれ。板前の木村さんから「カンちゃん、何でも作ってあげるよ」と言われていて。定番になっていたニラモヤは、私が最初に頼んでできたメニューです。

チー(2代目店主・渡辺孝さん)は小学校の時から知っています。保険会社に入社したときに一番最初にお客さんになったのはうちのクラブ(MCC)。クラブの50周年パーティーにパパやママ(初代店主・渡辺教義さん・静子さんご夫妻)にも来てもらいました。

つるの屋の50年の歴史の中で、お店自体も変わりましたし、学生さんもどんどん替わっていったから、見てきたつるの屋もそれぞれ違うでしょうね。そのお店も今は無くなってしまい、古いお店は本当になくなってしまいましたね。(要約作成:山中惇敏)



つるの屋での私(右)。宮下啓三名誉教授筆。
(平成10年5月15日)



寄せられた声から 企画展「曾禰中條建築事務所と慶應義塾Ⅰ」、同展建築見学会の感想

断片的な知識が慶應義塾という軸によって整理されたように思えました。慶應義塾は日本における様々な領域に直接、間接的に重要な役割を担っていたのだと思います。／福澤諭吉が当初建築を依頼した大工～藤本～曾禰へと建築の移り変わり、様式や曾禰中條建築事務所の作品紹介と慶応の貢献度や歴史が興味深かった。／慶應の建築物の細かな特徴や、曾禰中條建築事務所のエピソード等様々な話を知ることができた。／建築史の観点だけでなく、戦争などの時代背景と慶応の塾生の気質や風土的なものも解説してもらい、とても興味深かったです。まさか旧図書館の地下の耐震設備まで公開してもらえるとは思いませんでした！時間が短く感じました。楽しかったです。／古い建築が今も活用されているのが好きで、その方法などに興味があります。また、建築に限らないですが、被災履歴などをどこまで残すかなど、修復分野に最も関心があります。／大学建築に興味があっていろんな大学の説明会に参加していますが、赤レンガの建物が残っているのはとてもうらやましいです。自分の出身大学は関東大震災で倒壊したので、大切にしていくとともに公開してくれてありがとうございました。／自分も学生時代使わせていただいた旧図書館の書庫、その屋上の戦争の爪痕を拝見出来たことや、塾監局三階の、当時の学生さんがお写真に収めたシチュエーションなども想像でき、貴重な体験でした。／建設されてから、震災、戦災の苦難を経て、現在までの歴史、さらに保存に関する苦勞と努力と社中の協力に感動しました。／三田キャンパスには何度かお邪魔させて頂いておりましたが、建築の意匠や構造等を見るよくある建築ツアーと異なり、慶應義塾という私学の特性、歴史が踏まえられた深い内容でとても有意義でした。慶應義塾にもかつて存在した大講堂、幻の門の意味や昭和天皇来訪時のエピソードなど、へえ～と感心するものがある一方、意外と適当(あまり深い意味はない)だったりして、親近感を感じました。一度は見たかった三田演説館が見られたのも感動！あそこで名だたる名士たちが演説したのを想像すると鳥肌ものでした。／今回旧図書館屋根裏&地下、書庫、塾監局の内部～足を伸ばしユニコーン像まで丁寧でツボに刺さる解説で案内して下さり、本当に貴重で得難い体験を致しました。信濃町、北大植物園内の建築物にも感激しましたが、今回色々な要素を包括した立体平面論理が一体となった展示で、今まで観て来た様々なことが繋がりました。

企画展示室の今後の予定

慶應義塾福澤研究センター 新収資料展

2024年1月10日(水)～2月10日(土)

文学部古文書室主催

古文書にみる病と薬(仮)

2024年3月5日(火)～3月28日(木)

慶應義塾史展示館の図録

『福澤諭吉記念 慶應義塾史展示館 開館記念図録』

A4判 24頁
2021年7月4日発行
800円



『慶応四年五月十五日 一福澤諭吉、ウェーランド 経済書講述の日』

A4判 76頁
2021年10月9日発行
1200円



『慶應野球と近代日本 一“ヘラクレス”から “Enjoy Baseball”へ』

A4版 112頁
2022年7月30日発行
1800円



『福澤諭吉と『非暴力』 一学問のすゝめ150年』

A4版 68頁
2022年11月30日発行
1100円



『曾禰中條建築事務所と 慶應義塾』

A4版
2023年11月発行予定



当館常設展示室受付、カフェ八角塔、
三田インフォメーションプラザのほか、
慶應義塾公式グッズサイト (<https://keiogoods.jp/>)
からもお求めいただけます。



基本情報

開館年月日 2021年7月5日
空間デザイン 横総合計画事務所
展示設計製作 株式会社トータルメディア開発研究所
床面積 常設展示室:280.44㎡ 企画展示室:60.99㎡

スタッフ一覧

館長 平野 隆
副館長 都倉 武之
所員 西澤 直子、阿久澤 武史(兼運営委員)
所員 クラシグ、ジェフリー ヨシオ、小山 太輝、齋藤 秀彦、
末木 孝典、山内 慶太、結城 大佑
専門員 横山 寛
事務局 福澤研究センター 兼務

来館者数

2023/6	2023/7	2023/8	2023/9
2246名	2809名	11065名	2223名

※2023/8は、オープンキャンパス開催日に2日開館

諸記録

6月27日～9月2日 企画展 曾禰中條建築事務所と慶應義塾Ⅰ 明治・大正編
7月8日 三田キャンパス建築特別見学会
7月18日 企画者によるギャラリートーク 1回目
7月21日～9月2日 企画展開催記念 ステッカープレゼント
7月22日 企画展開催記念講演会
7月31日 企画者によるギャラリートーク 2回目
9月19日 特別企画「三田につるの屋があった頃。」内覧会・懇親会
9月20日～10月7日 特別企画「三田につるの屋があった頃。」
10月13日～2024年1月10日 特別出品 箱根駅伝 第100回大会開催記念
10月19日～12月16日 企画展 曾禰中條建築事務所と慶應義塾Ⅱ 昭和編
10月19日～ 特別出品 夏の甲子園優勝記念 大優勝旗 ほか

福澤諭吉記念慶應義塾史展示館だより

テンパス
Tempus No.05

発行日 2023年10月19日(年2回発行)

印刷 (有)梅沢印刷所

編集・発行 福澤諭吉記念慶應義塾史展示館

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 電話 03-5427-1200 <https://history.keio.ac.jp/>

各種SNSはこちら



@keiohistory



@keiohistory



@keio_history